

通し番号	5203
------	------

分類番号	R05-25-13-03
------	--------------

ネギ黒腐菌核病発病リスク低減のための管理方法
[要約] 神奈川県におけるネギ黒腐菌核病には、薬剤処理と土壌消毒に加え土壌 pH を高くすることで、防除効果が期待できる。特に、夏ネギでは薬剤処理の効果が最も高い。
神奈川県農業技術センター・生産環境部 病害虫研究課 連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

ネギ黒腐菌核病は、ネギ属に感染する、防除が難しい土壌伝染性病害である。近年、関東を中心に被害が増えており、県内でもネギやタマネギ、ニンニクでの発生の報告が増えている。そこで、県内におけるネギ黒腐菌核病の防除対策の構築を目指す。

[成果の内容・特徴]

- 1 夏ネギでは、発病を低くする因子として、薬剤処理、土壌消毒の実施、高い土壌 pH があり、このうち薬剤処理（ピラジフルミド）の効果が安定して認められる（表 1）。
- 2 秋冬ネギでは、収穫時期による発病株数の違いがあり、ネギ黒腐菌核病の発病歴があるほ場では、年内に収穫することにより被害の軽減が期待できる（データ略）。
- 3 タマネギでも、発病を低くする因子として、薬剤処理、土壌消毒の実施、高い土壌 pH があり、土壌消毒の効果が安定している（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 タマネギでは、ピラジフルミドフロアブルは2024年6月1日現在、灰色かび病などの登録はあるが、黒腐菌核病の登録はない。
- 2 秋冬ネギの収穫調査は、2021年12月16日および2022年1月13日に行った。
- 3 土壌消毒には、ダゾメット粒剤を30kg/10a処理し、60日間被覆した。
- 4 供試品種として、秋冬ネギには「森の奏で」、「龍翔」、「源翠」、「夏扇三号」、「夏扇四号」、「西田」、「ホワイトタイガー」、「湘南一本」、夏ネギには「春扇」、「夏扇パワー」、「長悦」、「ホワイトスター」、タマネギには「ソニック」および「湘南レッド」を用いた。
- 5 防除価 $= 100 - \frac{\text{処理の発病度}}{\text{基準の発病度}} \times 100$

[具体的データ]

表 1 夏ネギの黒腐菌核病の発生に対する処理条件の影響

処理条件			発病株数			防除価		
土壌 pH	土壌消毒	薬剤処理	2023/6/2	2023/7/20	2024/6/29	2023/6/2	2023/7/20	2024/6/29
pH8.0	有	ピラジフルミド	0	0	—	100	100	—
		シメコナゾール	0	0	—	100	100	—
		無	0	0	—	100	100	—
	無	ピラジフルミド	0	0	0	100	100	100
		シメコナゾール	12	25	0	93.2	83.1	100
		無	47	39	7	14.1	11.9	68.2
pH7.5	有	ピラジフルミド	0	0	—	100	100	—
		シメコナゾール	0	0	—	100	100	—
		無	3	0	—	98.3	100	—
	無	ピラジフルミド	0	0	0	100	100	100
		シメコナゾール	34	20	0	57.1	54.8	100
		無	41	27	23	26	39	0
pH7.0	有	ピラジフルミド	0	0	—	100	100	—
		シメコナゾール	0	0	—	100	100	—
		無	13	21	—	76.3	52.5	—
	無	ピラジフルミド	0	0	0	100	100	100
		シメコナゾール	23	32	0	65	27.7	100
		無	49	45	17	—	—	—

—：データなし。

防除価の基準の発病度は、pH7.0、土壌消毒無し、薬剤無処理区を用いた。

表 2 タマネギの黒腐菌核病の発生に対する処理条件と品種の影響

処理条件			発病株数		発病度		防除価	
土壌 pH	土壌消毒	薬剤処理*	ソニック	湘南レッド	ソニック	湘南レッド	ソニック	湘南レッド
pH8.0	有	有	0	0	0.0	0.0	100.0	100.0
		無	0	0	0.0	0.0	100.0	100.0
	無	有	0	1	0.0	0.8	100.0	99.2
		無	29	19	96.7	62.5	3.3	37.5
pH7.5	有	有	0	0	0.0	0.0	100.0	100.0
		無	0	0	0.0	0.0	100.0	100.0
	無	有	9	12	22.5	26.7	77.5	73.3
		無	29	24	93.3	75.0	6.7	25.0
pH7.0	有	有	0	0	0.0	0.0	100.0	100.0
		無	0	6	0.0	11.7	100.0	88.3
	無	有	3	15	7.5	35.8	92.5	64.2
		無	30	18	100.0	100.0	—	—

*フルジオキシソニルフロアブルおよびピラジフルミドフロアブルを使用した。

[資 料 名] 令和 3 ～ 5 年度試験研究成績書

[研究課題名] 診断・同定及び防除技術の開発

[研究 期 間] 2021(令和 3)年度～2023(令和 5)年度

[研究者担当名] 岡本昌広・蓑島綾華・島田涼子